

科目名 Course Name	美術史 Art history				ナンバリング No.	A3-051	
年次	2 年	期別	前期	単位数	2	授業形態	講義
担当者氏名	田村 田						
連絡方法	C-Learning で対応。または講義棟本館 3F 研究室						
必修／選択	選択						
関連 DP	DP2, DP3, DP4						
授業の概要と 到達目標	美術史は、芸術作品からその歴史的背景、当時の美意識、思想・信仰について幅広く探っていく学問である。授業では古代ギリシアから現代に至る西洋美術の歴史と作品について考察するなかで、一人ひとりが持つ「美」という概念を拓げ、作品研究の基礎的能力を養うこと目的とする。						
授業の方法	パワーポイントを用いた講義・ディスカッション形式にて授業を行う。補足教材として、レジュメを授業毎に配布する予定。第 15 回授業では、テーマを策定してプレゼンテーションを実施してもらう。						
学習成果	L01						
	L02	様々な見解に触れ、自らの分析・考察力を深める。					
	L03	主要な美術作品について知り、その歴史的変遷の概要を自身の言葉で語れるようになる。					
	L04						
課題に対する フィードバック	課題に関しては、講義のなかで対応する。						
教科書／ 参考図書	特になし(必要に応じてワークシートを配布する) 図書館の活用を望む。						
履修上の留意点 やルール等	事前事後学習：展覧会等に足を運び、作品に接することを求める。(レポートを提出)						
担当教員の実務 経験	● 田村田:実務経験(職種:美術教室、陶芸教室 職歴:通算 30 年) 美術教室や幼稚園、保育園等での実践事例を折り込みながら授業を行う。						

成績評価の方法と基準							
評価の領域	評価基準	学習成果の割合				L01	L02
		L01	L02	L03	L04		
授業参加態度	授業に参加する積極的な態度、ディスカッションでは他者の意見を尊重しつつ自分の考えを述べること。		30				
レポート	展示会レポート（1回）自分なりの視点で作品と対話し自身の言葉で考察されていること。			40			
発表	プレゼンテーションを各自実施してもらう。発表した内容について、自身の考察が明瞭かつ論理的に述べること。			30			
小テスト							
試験							
その他							
合 計			30	70			

回数		授業計画
1	授業内容	ガイダンス（美術史について学ぶ意義、授業内容、評価方法について説明する）
	事前・事後学習	事前事後学習：授業内で紹介した作品について考察する。
2	授業内容	西洋美術の歴史①（絵画の時代：宗教画、神話画、歴史画）作品から解説する。
	事前・事後学習	事前事後学習：授業内で紹介した作品について考察する。
3	授業内容	西洋美術の歴史②（絵画の時代：風俗画、人物画、静物画）作品から解説する。
	事前・事後学習	事前事後学習：授業内で紹介した作品について考察する。
4	授業内容	西洋美術の歴史③（絵画の時代：風景画、抽象画）作品から解説する。
	事前・事後学習	事前事後学習：授業内で紹介した作品について考察する。
5	授業内容	ギリシア美術・ローマ美術：主な彫刻作品から解説する。
	事前・事後学習	事前事後学習：授業内で紹介した作品について考察する。
6	授業内容	ルネサンス：三大巨匠らの絵画・彫刻作品から解説する。
	事前・事後学習	事前事後学習：授業内で紹介した作品について考察する。
7	授業内容	バロック・ロココ：バロック様式、ロココ様式を、主要な絵画作品から解説する。
	事前・事後学習	事前事後学習：授業内で紹介した作品について考察する。
8	授業内容	新古典主義・ロマン主義を主要な絵画作品から解説する。
	事前・事後学習	事前事後学習：授業内で紹介した作品について考察する。
9	授業内容	写実主義・ラファエル前派・を主要な絵画作品から解説する。
	事前・事後学習	事前事後学習：授業内で紹介した作品について考察する。
10	授業内容	印象派：マネ、モネ、ルノワールを代表的な作品から解説する。
	事前・事後学習	事前事後学習：授業内で紹介した作品について考察する。
11	授業内容	新印象派・後期印象派：スーラ、セザンヌ、ゴッホを代表的な作品から解説する。
	事前・事後学習	事前事後学習：授業内で紹介した作品について考察する。
12	授業内容	20世紀～現代へ：フォーヴィスム・キュビズムを主要な絵画作品から解説する。
	事前・事後学習	事前事後学習：授業内で紹介した作品について考察する。
13	授業内容	地域の美術研究とプレゼンの仕方について：地域の文化・歴史・芸術の掘り起こし
	事前・事後学習	事前事後学習：プレゼンの仕方の要点を整理し、プレゼンテーションの準備をする。
14	授業内容	20世紀～現代へ：シュルレアリズム・ポップアートを主要な作品から解説する。
	事前・事後学習	事前事後学習：プレゼン発表者は事前準備をしておくこと。
15	授業内容	まとめ：西洋美術の内容を確認する。学生によるプレゼンテーション。
	事前・事後学習	事前事後学習：授業内で紹介した作品について考察する。